

図書館だより

開館時間(共通)9時～17時30分
 中央図書館 ☎0558-76-5566
 葦山図書館 ☎055-949-8605

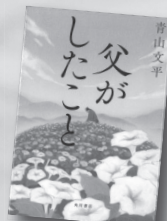


▲図書館 HP

今月のおすすめ

一般

【中央】



父がしたこと
 青山文平／著
 KADOKAWA

武士が護るべきは主君か、家族か。藩主の手術を引き受けた向坂は、息子の命の恩人であり主治医。藩主に万が一のことがあれば、向坂の立場は危うくなる。医療時代小説。

一般

【中央】



あの光
 香月夕花／著
 集英社

ハウスクリーニング業で起業した高岡紅。ブログをきっかけに一躍時の人になるが、教え子の行動がSNSで批判される。自己啓発と承認欲求の闇を撃つ成功と転落の物語。

一般

【葦山】



ファラオの密室
 白川尚史／著
 宝島社

期限は3日。自分の死と先王のミイラ消失の謎を追うのは神官セティの“ミイラ”。友情と浪漫に満ちた本格ミステリー。第22回『このミステリーがすごい』大賞受賞作。

一般

【葦山】



科学目線
 元村有希子／著
 毎日新聞出版

物理学者の脳内宇宙、パタゴニアの決断、核使用の危機、星を届ける人、他人事でない認知症。文系出身「雑食系科学記者」が、話題の科学ネタから身近な話題までを綴る。

新着本コーナーから

- 一般 平安ものことひと事典 砂崎良／著 【中央】
- 一般 1日1分読むだけで身につく老後のお金大全100 頼藤太希／著 【中央】
- 一般 身近な薬用植物ものしり帖 伊藤優／著 【葦山】
- 一般 王朝和歌、こんなに面白い 中原文夫／著 【葦山】
- 児童 シカものがたり おおなり修司／文 【中央】
- 児童 しゃぼんだま 小林実／文 【葦山】

3月の図書館カレンダー

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|---|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | ④ | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | ⑪ | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | ⑱ | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | ⑳ | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |

○ 中央休館日 □ 葦山休館日
 ◇ 両館休館日 ☆ おはなし会

3月のおはなし会

中央図書館 9日(土)11時～
 葦山図書館 23日(土)11時～
 くぬぎ会館こども広場
 21日(木)10時10分～

※事前申込不要

お知らせ

発表！人気のパンはこれだ！

絵本『からすのパンやさん』
 パン人気投票結果発表

- 第1位 パンダパン 95票
- 第2位 こねこパン 75票
- 第3位 こいぬパン 54票
- 第4位 うさぎパン 44票
- 第5位 スターパン 40票

令和5年10月～令和6年1月に、中央・葦山図書館など市内3カ所で開催した人気投票の結果です。全84種類のパンは絵本をチェックしてください。詳しい結果は3月末まで各図書館に掲示しています。

文化財通信

その225

変わりゆくもの・変わらないもの -神・仏に願うこと-

文化財課 ☎055-948-1428

日々の生活の安全・安心を願う気持ちは、今も昔も変わりません。未曾有の災害が続く昨今では、その気持ちはますます強くなっているのではないのでしょうか。日本では、昔からさまざまな行為や形で、生活の安全を神や仏に祈ってきました。そのいくつかをご紹介します。

写真1は、史跡北条氏邸跡(円成寺跡)から出土した石製の札です。表に「天神」、裏に「御□(守?)」と刻まれているので、いずれかの天神社に祈願したお守りなのでしょう。年代は、中世後期から江戸時代初め頃と考えられます。

写真2は、江川邸(重要文化財江川家住宅)の蔵や鎮守社を修復した際に出土した、アワビ・サザエ・カキの貝殻です。特に鎮守社では、床下の2.5×1mの範囲に砂利敷が見つかると、砂利の中や周辺から貝殻のほかに、かわらけ(素焼きの皿)や伊万里焼の茶碗、銭貨(寛永通宝)が出土しています。これは、建物を建てる前に、工事や建物の安全を願う祭祀、いわゆる地鎮祭が行われた跡と考えられます。



▲写真1 「天神」と刻まれた石製の札
 -史跡北条氏邸跡(円成寺跡)-

現在も新築の際には地鎮祭を行うことが多いですが、江川邸で見つかった出土例から、江戸時代の祭祀の状況を具体的に知ることができます。

最後に、私たちの身近な祭祀の一例として、葦山地区南條の「荒神さん」(荒神社・籠神社)を取り上げます。「火産霊命」・「奥津彦命」・「奥津姫命」の三荒神を祀る荒神さんは、火災を防ぐ「火伏の神」として広く信仰されており、1月28日・29日の祭祀の日に、お札と「スミンチョ」と呼ばれるお守りが配られます。現在は、お札や「スミンチョ」を台所などに



▲写真2 江川邸の蔵・鎮守社で出土したアワビ・サザエ・カキ

祀り、火事が起きない、起こさないお守りとしていますが、かつては籠の脇やいろりの自在かぎに吊るしていました。

私たちは、災害から身を守るために、日々、さまざまな備えをしますが、家内安全を神仏に祈る想いは、昔と変わらず続いていくでしょう。

*現在、市役所伊豆長岡庁舎1階ロビーにて、広報2月号・3月号で紹介した資料を展示しています。ぜひご覧ください。